

活動分野：

教育・人材育成 / 健康・医療

研究者名（研究グループ名）：

短期大学部 食生活学科 福田 也寸子 臨床栄養学研究室

活動概要

サービス・ラーニングの一環として、学生主動で、不足しがちな栄養素を強化したデザートを考案し、ドナルド・マクドナルド・ハウス（大阪府吹田市青山台4-31-20：以下ハウス）において提供している。ハウスは、難病などで自宅を遠く離れて入院生活をおくる子どもに付き添う、家族のための滞在施設であり、病気と闘う子どもと家族への応援という社会貢献に努める活動を実施している。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

ボランティア活動を通して市民性を学習するサービス・ラーニングの一つ、およびグループ・ワークの中で、試行錯誤しながら主体的に考える力をつける、課題解決型の能動的学習の意味合いも持たせている。さらに、このような研究室ゼミ活動での経験が生涯に亘る学習につながることを期待している。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	不足しがちな栄養素等を強化したデザート・ミール・サービスのボランティア活動
対象となる地域・企業等	ハウスの利用者
活動学生(ゼミ・学年等)	福田也寸子研究室へ配属された食物栄養学科4年生
連携時期	2014年度から取り組みを始め、年間数回の活動を行っている。
学外への広報方法	学院HPや、学外広報誌「リビエール」、ハウスHPを通じた広報
連携内容	教育活動の一環としてプログラムしたサービス・ラーニング。管理栄養士養成課程の専門教育を通して獲得した専門的な知識・技能と、ミール・サービスという社会貢献活動を統合させた。実際のサービス体験から自分の学問的取組や進路について新たな視野を得ることが目的である。活動場所はハウスである。ハウスは難病拠点病院に隣接する、難病などで自宅を遠く離れて入院生活をおくる子どもに付き添う家族のための非営利滞在施設である。運営や補修、維持管理はボランティア活動で支えられている。利用者の食事は原則として自炊であるが、付き添いで時間が取られるため、インスタント食品やめん類等簡単なもので済まされていることが多い。そこで、このような家族に対し、学生たちは食のエキスパートを目指す者として何が出来るか、自らの社会的役割を意識するとはどういうことかなど、主体性をもって話し合いを持つ。そして、普段の食事では不足しがちな栄養素等の補給方法を考案し、デザート形でミール・サービス活動を実施するものである。
成果	学生たちは、[不足しがちな栄養素等を強化したデザート]の具体化について主体性をもって話し合う過程で、実用性や実際に活用できる知識・技能の意識付け等が習得されている。また実技は初めて使用するハウスの調理室で行うため、臨機応変に処理する能力が育成されている。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

難病拠点病院に隣接して設立されている非営利施設である、[ドナルド・マクドナルド・ハウス]に協力し、難病患児を抱える家族への支援として、手づくりお菓子提供、調理支援を[ミール・サービス]というカテゴリーでのボランティア活動をもって実施している。ここでは、看病・介護に明け暮れている家族に対し、食育情報の提供も行い、不足しがちな栄養素を強化したデザートの提案などを展開中である。

これまで、不足しがちな栄養素として、葉酸や食物繊維、カルシウム、鉄分などに着目し、摂取を勧めたい食品として、おからやきな粉、小松菜、ごまなどを取り上げてきた。

葉酸・鉄分リッチの小松菜カップケーキや、食物繊維を強調したゴボウかりんとう、ゴマ・ひじきを入れたクラッカー、カルシウム豊富な牛乳やチーズを使った焼き菓子、緑黄色野菜のかぼちゃクッキー、抹茶パワーのクッキー、など全て手作りで安心安全に提供している。レシピや栄養量、栄養・食育メモを記載したメッセージカードも毎回手作りして添えている。

以下は、過去に本活動に参加した学生からの感想である。
とても貴重な経験をした。施設の運営や管理がボランティア活動で支えられていることに驚いた。施設利用者が自分の食事、特にお菓子にまでは頭が回らないので、デザート・ミール・サービスはとても喜ばれていると聞いてやりがいを感じた。自分たちが作ったものを食べて美味しいと感じてまた家でも作ってもらえるかと思うと嬉しい。研究室のゼミ活動として今後も続けていってほしい、など。

なお、毎回、施設利用者には自由記述式で、食べた感想についてアンケートで回答して頂いている。これまでに施設利用者から寄せられた感想の主なものは次のとおりである。野菜本来の甘みを上手に活かして栄養たっぷりの感じが良かった。疲れた体に美味しく染み渡った。野菜がなかなか食べ辛いので嬉しい。授乳中で、カルシウムや葉酸を摂るように心がけているのでスイーツの形で食べられて嬉しかった。鉄分や亜鉛、カルシウム、食物繊維の不足が気になるので、これらを強化したスイーツを教えて欲しい。また、セロリーやゴーヤの食べ方も教えて欲しい、など。

本学習が学生一人ひとりの人格を磨き、そして高め、人材育成、生涯学習、豊かな人生をおくるスキルアップにつながることを期待している。